

# 手順書の作成

- ・ アセスメントに基づく支援手順書の作成（２）

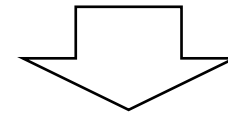
支援手順書の  
作成

**演習 3**

アセスメントに基  
づく支援手順書の  
作成（1）  
60分

**演習 4**

アセスメントに基づく支援手順書の  
作成（2）  
120分



ii ) 支援手順書の作成

- 本人の動きを想定する
- 支援者の動きや必要な配慮を考える

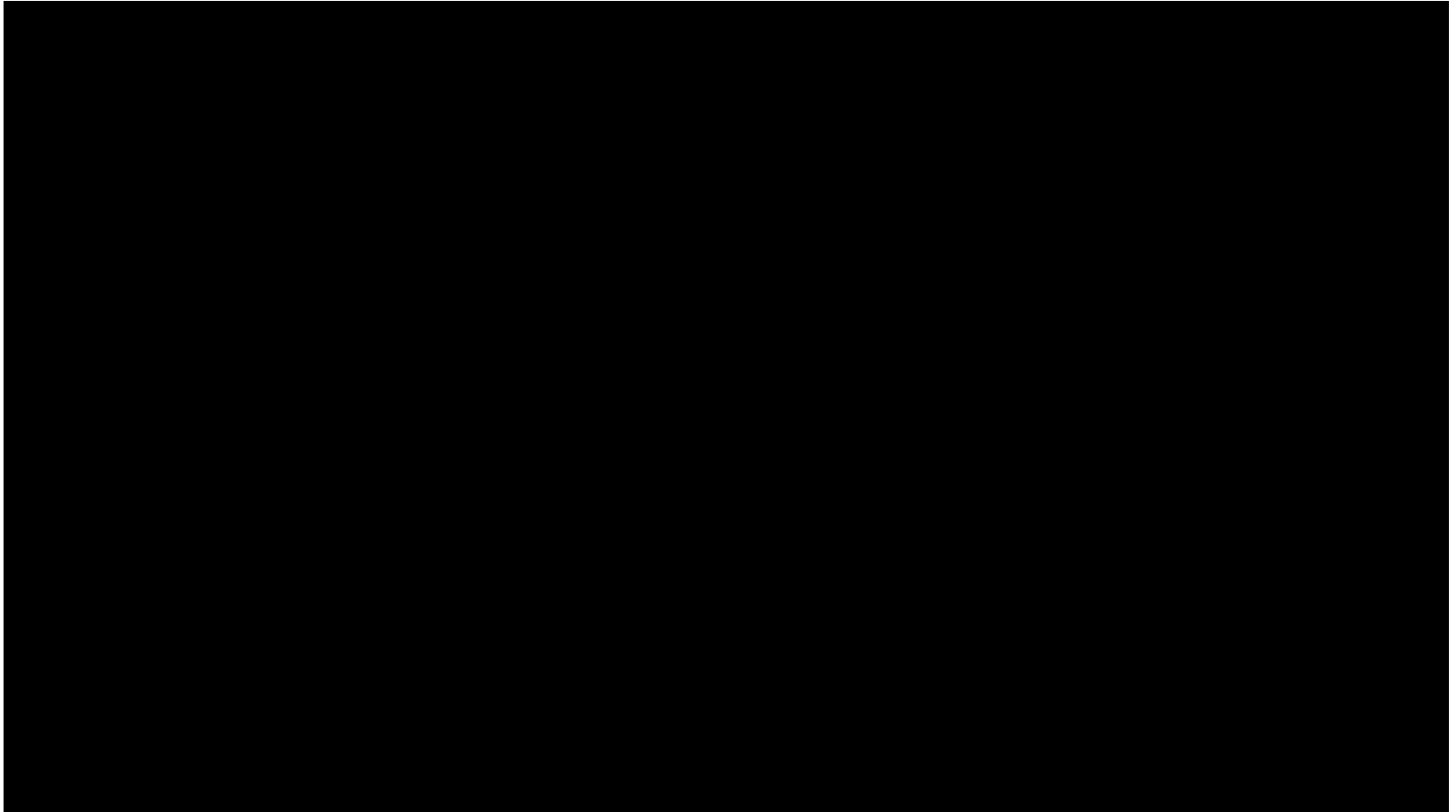


## 個人ワーク | 活動の手順を考える

1. 工程ごとに本人の動きを想定します。
2. 支援手順書に本人の動きを記入します。

# 動画視聴

動画7\_2：課題となる行動（アセスメントの方法②障害特性に基づくアセスメント）



個人

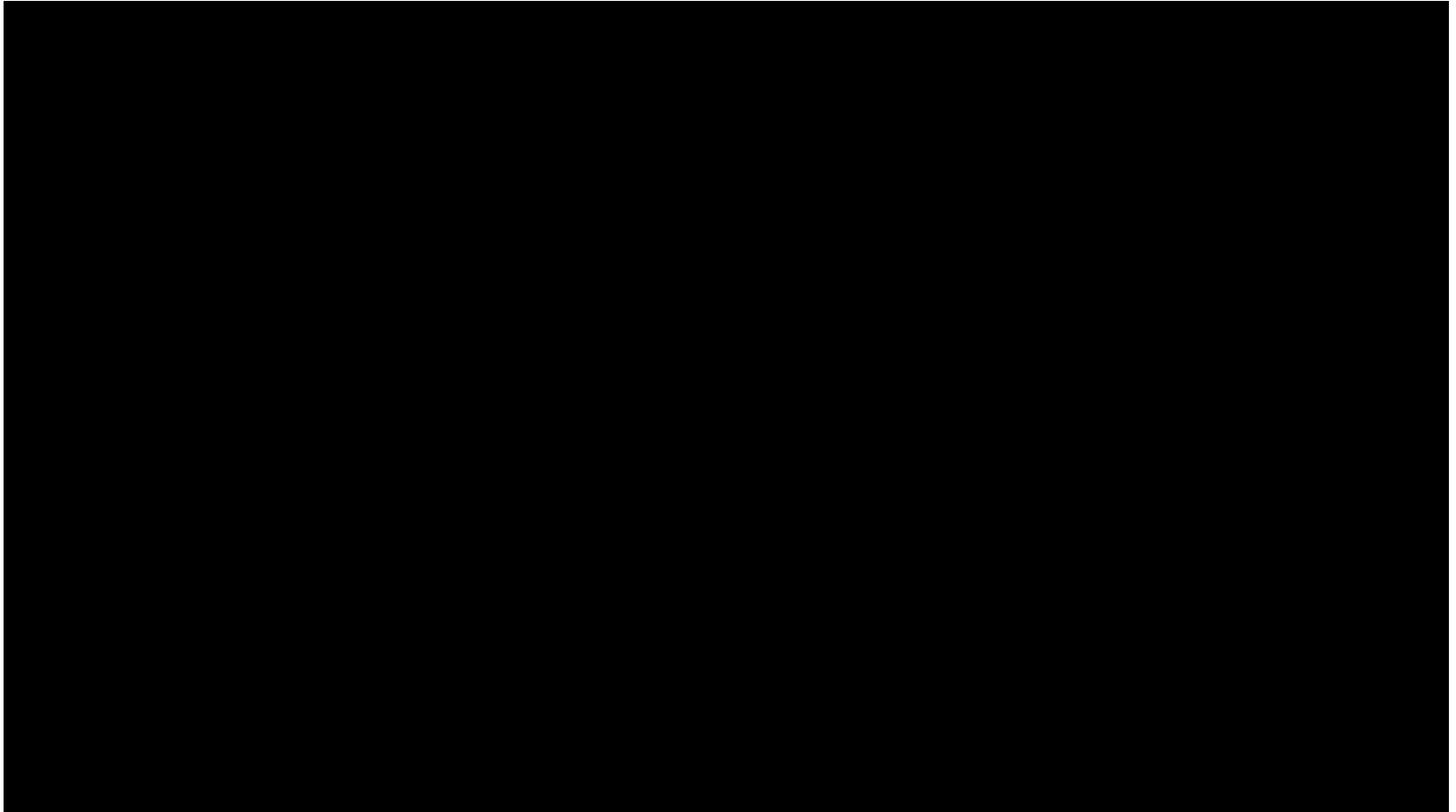
- 支援手順書/記録用紙

【作業場面】

[illegible]

# 動画視聴

動画7\_2：課題となる行動（アセスメントの方法②障害特性に基づくアセスメント）



# グループワーク | 活動の手順を決める

※支援手順書（グループ用）に記入

[illegible]



グループ

※支援手順書（グループ用）に記入

支援手順書/記録用紙				
【作業場面】				
日付け	20〇〇年〇月×日	氏名	田中正則さん	記入者 支援員B
工程	本人の動き	支援者の動き・留意点		本人の様子(記録)
<b>事前準備</b>				

--

## ○支援者の動きや必要な配慮を考える

**支援手順書/記録用紙**

【作業場面】

日付け	2000年0月×日	氏名	田中正則さん	記入者	支援員B
工程	本人の動き	支援者の動き・留意点		本人の様子(記録)	
事前準備		3			
		2			
1					

1. 当日までに準備しておくことを記入する。
2. 氷山モデルの「必要なサポート」欄を根拠に、支援者の動きや必要な配慮を記入する。
3. 当日の事前準備を記入する。

必要なサポートを根拠に、支援者の動きや必要な配慮を記入します

全体

課題となっている行動

本人の特性

環境・状況

必要なサポート

(支援のアイデア)

(具体的なサポート)

(本人の強み→活かせるような場面や状況)

1. 当日までに準備しておくことを記入します

当日までに準備しておくことも考えます。

- 1 (1) 事前に室内の環境で確認しておくこと
- (2) 支援ツールなど事前に作っておくもの・用意しておくものなど

※今回は、支援手順書の下の欄に記載してください。

支援手順書/記録用紙

【作業場面】

日付け	20〇〇年〇月×日	氏名	田中正則さん	記入者	支援員B
工程	本人の動き	支援者の動き・留意点		本人の様子(記録)	
事前準備					

1

## 2. 支援者の動きや必要な配慮を記入します

支援手順書/記録用紙

【作業場面】

[illegible]

### 3. 当日の事前準備を記入します

支援手順書/記録用紙

**【作業場面】**

[illegible]

# 個人ワーク

## 必要なサポートを根拠に

1. 当日までに準備しておくことを記入します

## 2. 支援者の動きや必要な配慮を記入します

### 3. 当日の事前準備を記入します

[illegible]

# グループワーク | 支援者の動きや必要な配慮を考える

必要なサポートを根拠に

1. 当日までに準備しておくことをグループで共有します
2. 支援者の動きや必要な配慮をグループで共有します
3. 当日の事前準備をグループで共有します  
※支援手順書（グループ用）に記入



## 必要なサポートを根拠に

- 支援手帳用紙  
【作業場面】

[illegible]

# グループワーク | 支援者の動きや必要な配慮を考える

必要なサポートを根拠に

1. 当日までに準備しておくことをグループで共有します

2. 支援者の動きや必要な配慮をグループで共有します

3. 当日の事前準備をグループで共有します

※支援手順書（グループ用）に記入

# 個人ワーク

## 支援者の動きや必要な配慮を考える

## 必要なサポートを根拠に

1. 当日までに準備しておくことを記入します

- ## 2. 支援者の動きや必要な配慮を記入します

- ### 3. 当日の事前準備を記入します

[illegible]

# グループワーク | 支援者の動きや必要な配慮を考える

必要なサポートを根拠に

1. 当日までに準備しておくことをグループで共有します
2. 支援者の動きや必要な配慮をグループで共有します
3. 当日の事前準備をグループで共有します  
※支援手順書（グループ用）に記入

## 発 表

1. 活用した氷山モデルの必要なサポート
2. 当日までに準備しておくこと
3. 当日の事前準備の内容
4. 活動の手順と支援者の動きや必要な配慮

# まとめの講義

1. 強度行動障害が現れている方への支援は、支援者が統一した支援をすることが重要。そのために支援手順書を作成する必要があります。
2. 支援手順書は、アセスメントを根拠に作成することが原則で、工程ごとに丁寧に組み立てます。